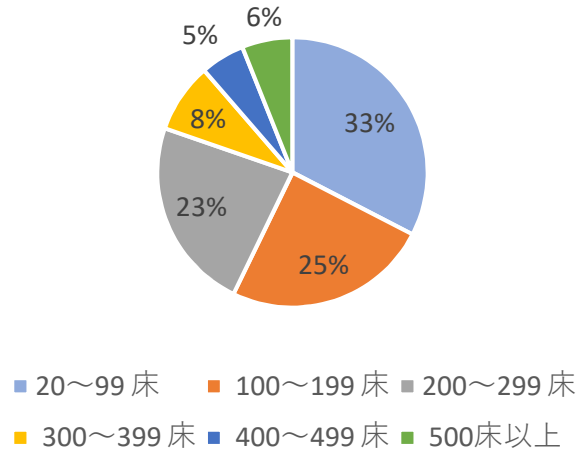


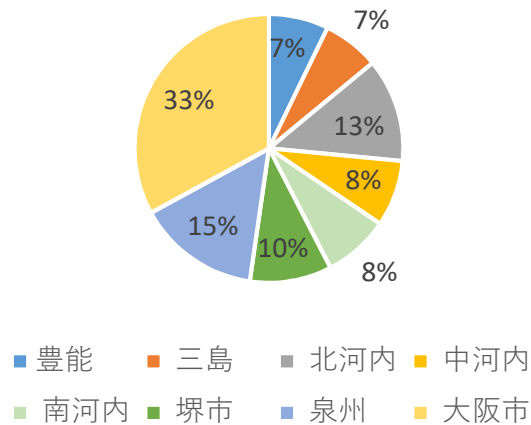
回答集計結果

1 各質問の回答の分布は以下のとおり

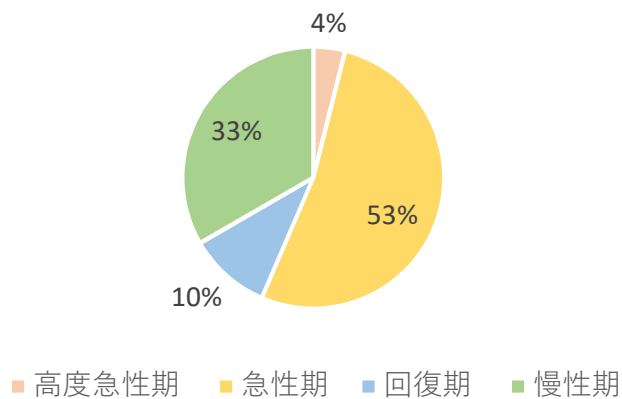
質問1 病床規模



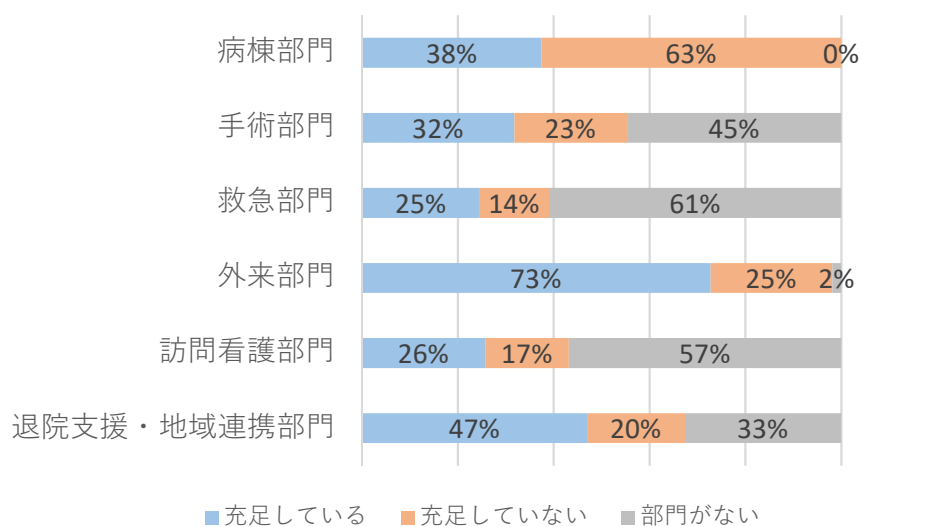
質問2 二次医療圏



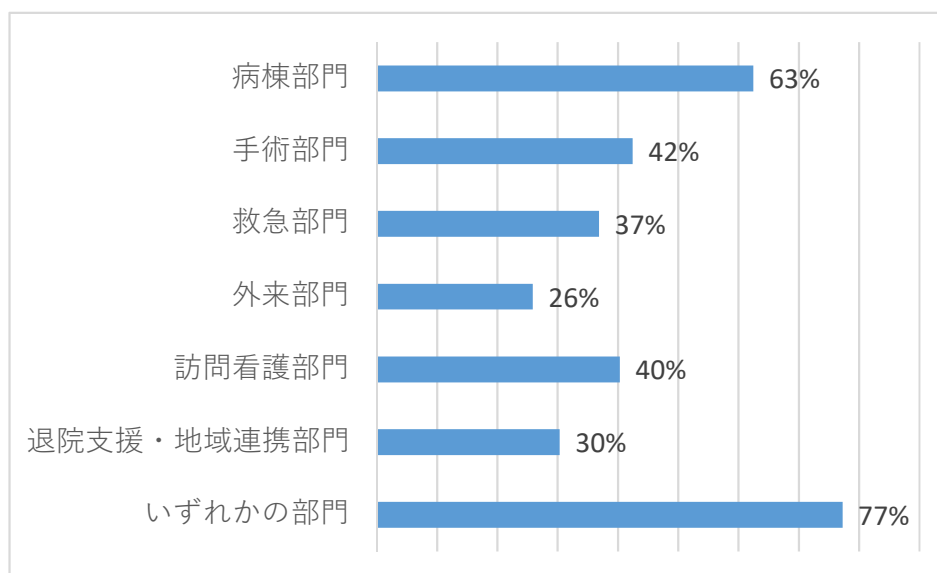
質問3 機能類型



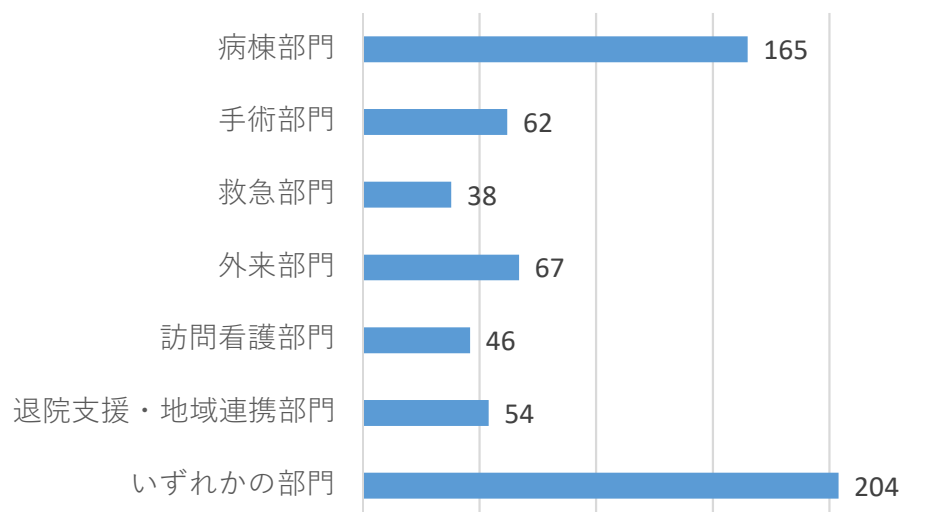
質問4 部門ごとの看護職員充足状況



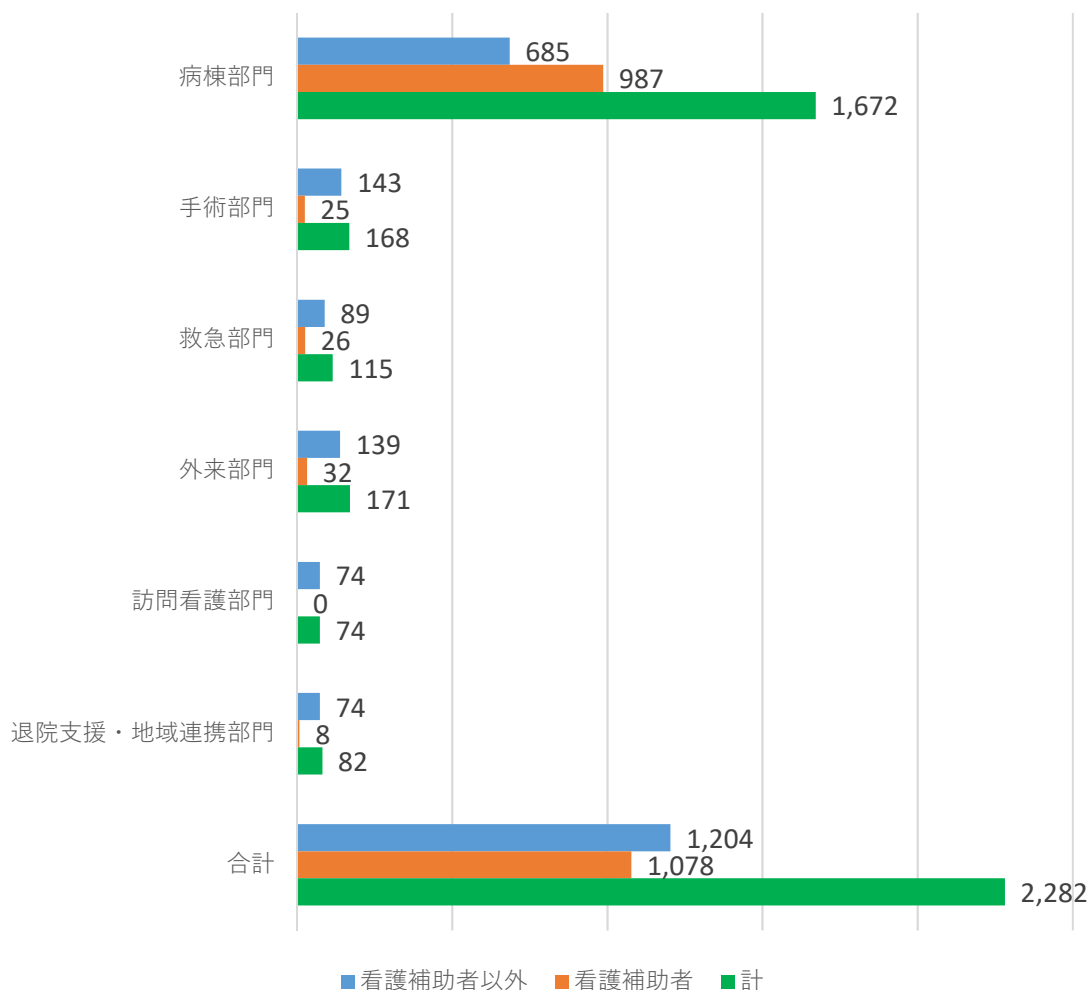
部門がある病院のうち充足していない病院の割合



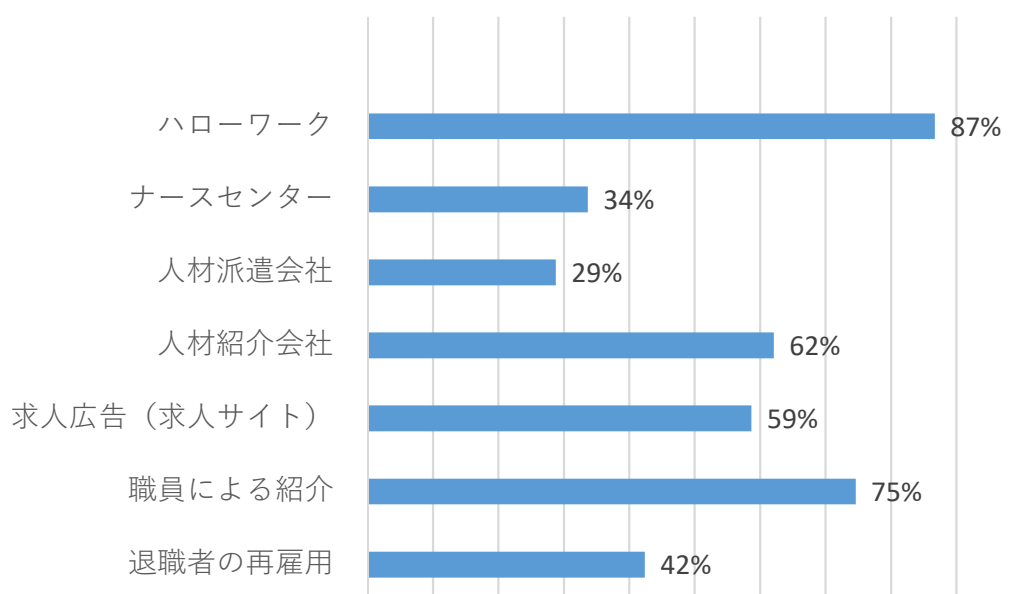
充足していない病院数



質問5 部門ごとの看護職員不足数



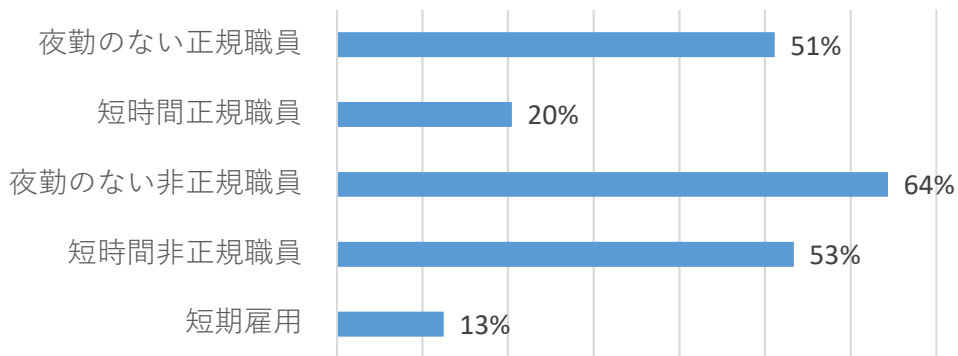
質問6 中途採用看護職員の募集方法



「その他」記載 (抜粋)

- 自院もしくは関係機関のホームページ

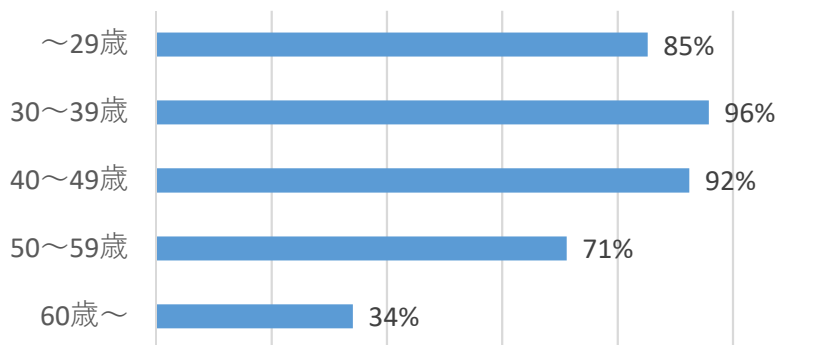
質問7 中途採用看護職員を採用できる勤務形態



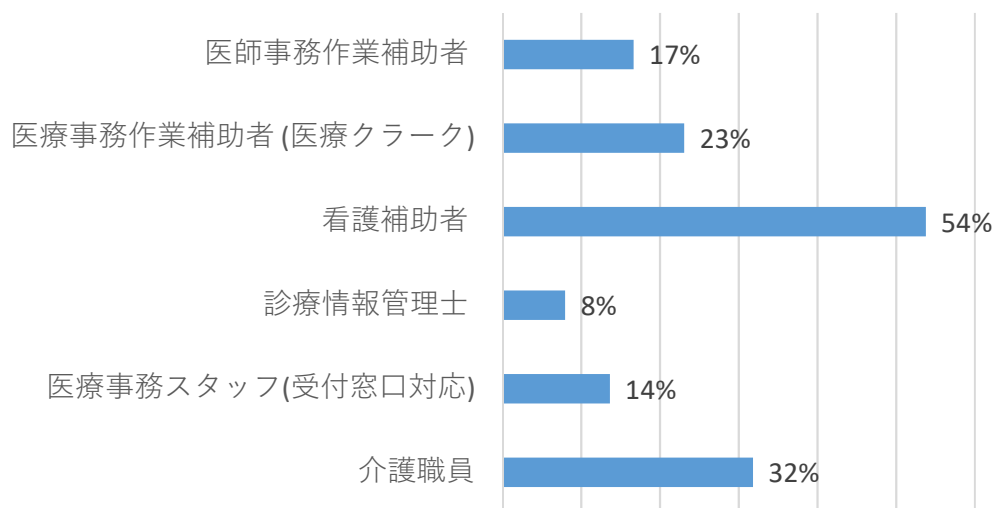
質問7-2 短時間職員を採用できるときの最短勤務時間

	3時間以下	3時間超 4時間以下	4時間超 5時間以下	5時間超 6時間以下	6時間超	合計
病院数	30	79	20	25	9	163

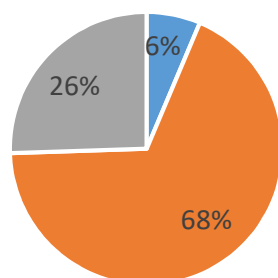
質問8 過去5年に採用した看護職員の採用時の年齢



質問9 看護職員の有資格者を採用できる職種



質問10 復職前研修の実施



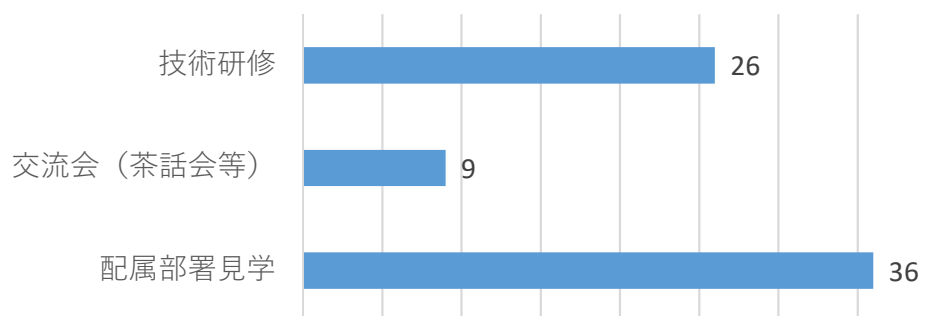
- 実施している
- 実施していない
- 一律には実施していないが、対象者の希望等により実施する

質問11 復職前研修の日数、時間ごとの病院数

1日当たりの研修時間

		1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	計
研 修 日 数	1日	1	3	2	4	2	3	2	3	20
	2日			4	2		3	1	2	12
	3日	1	1		2			1		5
	4日～7日		1	1				1		3
	8日以上				2					2

質問12 復職前研修の内容ごとの実施病院数



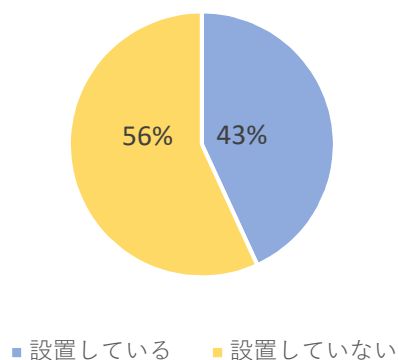
「その他」記載（抜粋）

- インターンシップ
- 看護の動向、最新の知識等に関する講義
- 教育研修計画 医療安全に関すること
- 電子カルテ操作指導

質問12-2 技術研修の内容（抜粋）

- 医療機器の操作、看護記録の作成
- 看護基礎技術全般
- 吸引、血液検査
- 救急蘇生、点滴・胃瘻管理
- 採血、血糖測定、救急蘇生、AED操作、感染管理、スキンケア褥瘡
- 静脈注射
- 心肺蘇生術
- 点滴 PEG注入 胃管注入
- 点滴介助、注入食、移乗、口腔ケア

質問13 院内保育所の設置



質問14 院内保育所の設置以外の子育て支援（抜粋）

- 「ママカフェ」を開催し、育児・復職の悩み相談に対応している。
- インフルエンザ予防接種補助
- キッズルーム(学童)の運営
- 育休復帰後の夜勤免除、短時間正職員への雇用形態の変更
- タクシー会社と提携して、学童保育の小学生をお迎え
- 企業主導型保育所との契約
- 病児・病後保育室
- 保育費の一部補助
- 子供のお迎えに30分の勤務免除（有給）

質問15 潜在看護職員の復職推進対策等についての意見（抜粋）

- ブランクが長い看護師も積極的に採用し、長時間かけて育成しているが、ある程度のスキルを身につけた時点で転職されてしまうことが多い。復職支援は「民」だけではなく「官」でも進めてほしい。
- 育児支援の充実により出産後も働き続けられる環境は整備したが、復職後、ほとんどの看護師は夜勤をせず、夜勤が可能な者への負担が増している。育児代替雇用の助成制度ができないか。
- 復職支援の取り組みとしてリカレントスクールを開講している。復職支援教育に対する助成金制度があれば、内容の充実と受け入れの拡大を図ることができるので、導入をぜひにも検討いただきたい。
- 一度、医療現場を離れてしまうと復職には大きな勇気と決断が必要だと思う。離職せずに続けられる職場環境が大切。正規でなくても現場とつながっていることが大切。
- 今後、潜在看護職員の育成に関わっていきたいと思います。昨年、業者を呼んで院内保育所の説明を聞いたが、わからないことが多く、院内保育所をテーマにした研修会には参加していきたい。復職前研修にも取り組んでいく予定です。
- 子育て中の看護職員の勤務環境改善のための取り組みをいろいろ試しているが、他の職員からの苦情が多く調整が難しい。
- 潜在看護師の復職には、再教育のための人材等の投入が必要なことから、助成金制度を設けてほしい。
- 潜在看護職員の情報が全く無い状況である。復職に係る就職フェアなどを公的機関で開催してもらいたい。
- 短時間正社員を求める声が多いことがわかったので今後の検討課題とする。他の医療機関の取り組みを紹介してほしい。
- 復職支援の研修時に医療機関の求人内容の一覧を情報提供いただきたい。
- 潜在看護師で資格を使わずに働きたい人がどれくらいいるのか知りたい。労働条件の折り合いがつけば看護補助者として採用したい。
- 看護補助員の採用、定着が看護師以上に困難。
- 紹介業者の紹介料金が不当に高く、なかなか看護職員を雇用できない。ようやく雇用しても質の悪い場合も多く大変困っている。
- 人材紹介業者の紹介手数料が高く、いい人材がいてもなかなか雇用できない。年間数百万円もしくは一千万円以上の手数料があれば、働く人への賃金増が可能なのに、それもできずに悪循環となっている。
- 潜在看護師意識調査結果は参考になった。復職しやすい環境を整えていきたい。
- 潜在看護師が復職に対してどのような不安をもっているのかの情報が欲しかったが、潜在看護師意識調査意識調査結果でよく理解できた。